

## 第72回“社会を明るくする運動”強調月間について

### 1 要旨・目的

犯罪や非行のない安全・安心な社会を築いていくことを目的に、法務省主唱の“社会を明るくする運動”に呼応し、期間中、関係機関・団体の組織を越えた活動を県内各地で展開する。

### 2 現状・背景

戦後の荒廃期の昭和24年に更生保護制度がスタートしたときに、世の中が明るくなることを期待して行われたキャンペーンがもととなり、昭和26年から「社会を明るくする運動」として、実施している。

### 3 概要

#### (1) 実施主体

広島県推進委員会（132機関・団体から構成）  
〔 県，県教育委員会，県警察，広島保護観察所，広島弁護士会，  
広島県防犯連合会，広島県商工会議所連合会，広島県保護司会連合会 〕

#### (2) 実施期間

令和4年7月1日（金）から7月31日（日）までの1か月間

#### (3) 場所

県内全域

#### (4) 実施内容

強調月間中に”社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～にふさわしい事業の実施や広報活動を行うなどして推進を図る。

#### (運動における主な取組)

##### ○作文・標語コンテスト

対 象：小学生・中学生（標語の部は中学生のみ）

テーマ：日常の家庭生活，学校生活の中で体験したことを基に，犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたこと，感じたことなど

〆 切：令和4年9月16日（金）

表 彰：最優秀賞1点，優秀賞4点

（作文の部は，最優秀賞を含む3点を，中央推進委員会へ推薦）

##### ○広報啓発活動

各機関・団体における懸垂幕やポスターの掲出，新聞やテレビによる啓発等を実施

小さい頃から、私と世界を隔ててきた“生きづらさ”。  
世界は私の全てを拒絶した。

独りでもがいて、自分も周りも傷つけた私が  
保護観察になったのは、高校をやめたとき。

言葉にならない思いは、あふれて、止められない。  
その人は、私の“生きづらさ”に触れることなく  
でも包み込むように言った。

— 大丈夫。世界は広くて、温かくて、  
私もいるんだから、きっと大丈夫。

“生きづらさ”の向こうにあった世界が、  
少しだけ近く見えた。  
私を拒んでいた世界は、私が拒んでいた世界。  
その人の言葉が、世界と私をつないでくれた。

だから今。今度は、君に伝えてる。

— 大丈夫。世界は広くて、明るくて、  
私もいるんだから、きっと大丈夫。



#生きづらさを  
生きていく。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第72回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動”強調月間・  
再犯防止啓発月間です。

更生ペンギンの  
サラちゃん 更生ペンギンの  
ホゴちゃん

社明 しゃめい

🔍 検索

